

～環境学館いずみボランティアスタッフによる「いずみガイド」～

6月のテキゴト

6月18日(火)開催 パック de セッケン(善能寺)

毎月、発信しています「いずボラ通信」の6月の出来事は初めての出前講座についてレポートします。環境学館いずみでは環境に関する各講座が開かれています。

各講座の会場は主に環境学館いずみで行っていますが、地域交流センター(旧公民館)や現地で行う講座もあります。今回は、社会福祉協議会「善能寺なごやかサロン」からの依頼により出前講座を行うこととなりました。この日は前夜からの雨で足元の悪いところでしたが、申し込みされた方々(20名)全員が善能寺集会所に集合されました。

講座のタイトルは「パック de セッケン」です。講座の内容は環境学館いずみで毎月行っているものと変わりありません。学校給食の廃食油、えひめ AI、苛性ソーダ、牛乳の空容器(パック)を使い固形セッケンを作りました。

講座を行うにあたり参加頂きました善能寺地区の皆さんに喜んで頂けることが一番です。参加された方々のご自宅近くで開かれることの便利さと、出来上がったセッケンの良さを感じて頂けたらと思っています。

又、このセッケンの良さを知って頂きリピーターが増えていけば出前講座を行った甲斐があります。このレポートを読まれ出前講座に興味を持たれ希望される方は、申し込み用紙が各地域交流センターにあります。必要事項を記入され申し込んで下さい。

参加された方から、自分で材料を揃え作れないかと質問がありましたが、苛性ソーダ(劇物指定)を使いますので十分な注意が必要です。又、苛性ソーダは何処でも手に入らない(薬局で購入)ことを理解して頂きました。

最後になりましたが、今回の出前講座にご出席頂きました皆さんは満足された様子でした。このセッケンをお使いになられました感想を環境学館いずみまでお寄せ頂けたら幸いです。



記 環境学館いずみ運営ボランティア S.H